

令和6年度 浅羽野中学校 音楽科シラバス（第3学年）

1 学習目標

- 曲想と音楽の構造や背景などとの関り及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 学習の進め方

- 1 歌唱では、基礎・基本的な西洋や日本の発声方法を理解し習得すると共に、独唱や斉唱、各パート別の練習を通し、ハーモニー作りや曲想と歌詞の相関性を意識させながら練習をします。
- 2 器楽では、ギター・打楽器・箏を中心とした器楽活動をします。
- 3 創作では、歌詞の抑揚に沿った旋律をつくったり、リズムを組み合わせせて情景や様子などを表現したりなど、イメージしたことを音で自由に表現する活動を行います。
- 4 鑑賞では、音楽を形づくっている要素や曲の構造と曲想の関わりなどを発見して様々な音楽を聴きます。

3 評価の観点・評価方法

評価の観点はA・B・Cの三段階です

評価の観点はA・B・Cの三段階です		評価方法
知識・技能	音楽を表現するための基礎的な知識・技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト ・ワークシート
思考・判断・表現	音や音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫して生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・歌唱・器楽・創作・鑑賞 ・実技テスト ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽への興味・関心を持って、意欲的に表現しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業カード（自己評価） ・提出物 ・授業中の取り組み ・実技テスト ・定期テスト

評 定	学期末に1・2・3・4・5の5段階で示します。
-----	-------------------------

4 学習計画

学 期	おもな学習内容 〈学校行事との関わり〉	学 習 の ね ら い
1 学期	<p>○日本の歌を味わおう。(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌曲「花」 <p>○オーケストラの豊かな響きを味わおう。(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交響詩「わか祖国」より ブルタバ <p>○詩に旋律を付けよう(創作)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本歌曲の歌詞の内容や、曲想の表現を工夫して歌うことができる。 ・ 曲想の変化を感じ取り、曲種に合った発声法で歌うことができる。 ・ 音楽の様々な要素の働きから生み出されるオーケストラの雰囲気や曲想を理解して表現の美しさを味わう。 ・ 各標題を手がかりにして楽器の音色や音楽の様々な構成要素を聞き取り、楽曲を味わって聴くことができる ・ 言葉や音階の特徴を生かし、詩にふさわしい表現を工夫する。
2 学期	<p>○曲に合った表現を工夫しよう。 〈校内合唱コンクール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年合唱曲 ・ 各クラスの合唱曲 <p>・ バレエ音楽「ボレロ」</p> <p>○能と狂言の魅力を味わおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パートの決定とリーダーの選出 ・ 混合拍子の指揮になれて歌唱表現ができる。 ・ 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・ いろいろな合唱曲に取り組み、表現力を高めることができる。 ・ 歌詞の内容の理解と表現の工夫ができる。 ・ 明確な美しい発音の工夫ができる。 ・ 音楽が人間生活や文化との関わりをもっていることを理解して、聞き取ることができる。 ・ 能の発声法を言葉の特性を生かして歌うことができる
3 学期	<p>○ポピュラー音楽の魅力を味わおう。</p> <p>○ギターの基本的な奏法を理解し、簡単な曲を弾こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌曲「早春賦」 <p>○音楽で気持ちを伝えよう 〈卒業式〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国歌、校歌 ・ 卒業式合唱曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なルーツで誕生したポピュラー音楽の奥深さを感じ取り、複数の楽曲を比較鑑賞することで特徴を聞き分けることができる。 ・ 姿勢や構え方を意識し、ストローク奏法やアポヤンド奏法等の響きを感じ取り、実際に弾くことができる。 ・ 歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・ 卒業式に向けて心豊かに歌唱表現をすることができる ・ 明確な発音と豊かな響きを持った歌声で混声合唱をし、共通の感動体験を味わうことができる。